

目標達成のために必要な機能をマインドマップとミスユースケースを使って抽出。

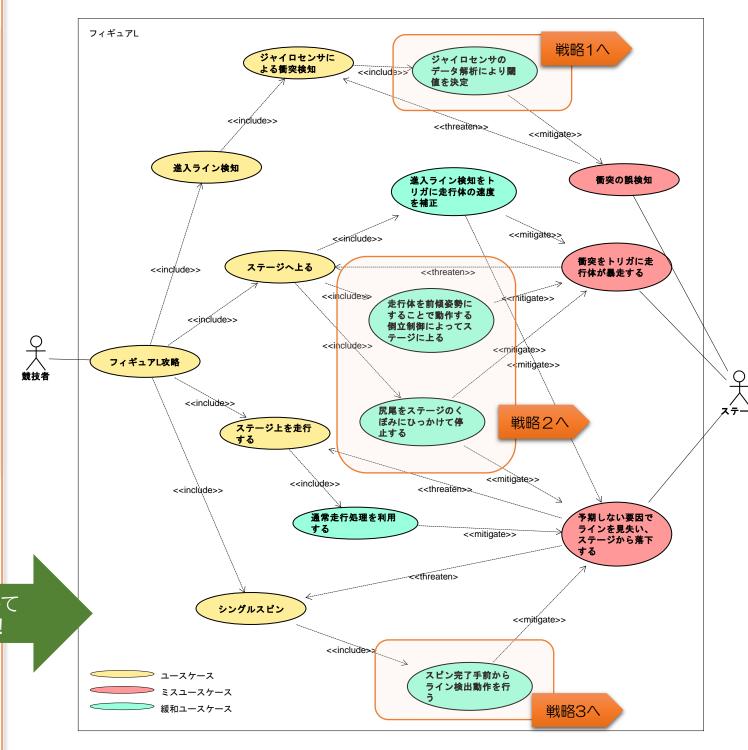
フィギュアLを100%突破する 目標

- ①フィギュアL攻略に必要な主機能をマインドマップで分析
- ②"100%突破"するためのリスクをミスユースケース図で洗い出し

攻略に必要な主機能を分析 衝突時の値 段差衝突時のジャイロセンサ値の変動で検知 通常走行時の値 進入ライン検知 衝突時の値 段差衝突時のモータ回転角度が 変わらないことで検知 通常走行時の値 速度を速くする 通常走行で上る 速度を遅くする ステージへ上る 尻尾を降ろすことで前傾姿勢にする 走行体を前傾姿勢にすることで 走行体の速度を速くして 段差衝突させることで前傾姿勢にする 動作する倒立制御によって上る 片方のタイヤのみ動かす 尻尾を上げた状態で回転する フィギュアLを攻略 両方のタイヤを動かす 片方のタイヤのみ動かす 尻尾を下げた状態で回転する シングルスピン 両方のタイヤを動かす ラインの検出回数で検知する 360度回転する 意図的に360度未満で回転を ステージ上を走行する 通常走行処理を利用する 通常走行時にも リスクを整理して 誤検知してしまうかも!? 対策が必要!! スピン後ラインを見失うかも!? などなど

リスクを洗い出す

- ①ミスユースケースでリスクを整理
- ②各ミスユースケースに対して緩和ユースケースを検討



2.戦略

3.構造

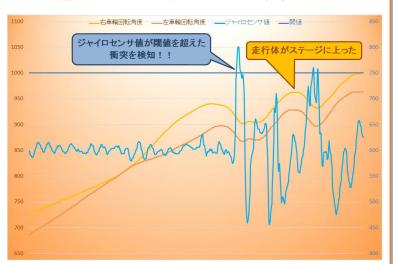
4.振る舞い

しなっし~ず

目的達成のための戦略を記載。ミスユースケースの分析結果に対して実現方法を検討。

戦略1) 衝突検知

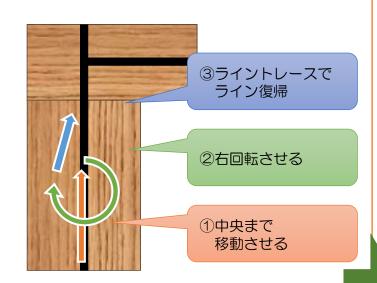
衝突時のジャイロセンサ値の変動を解析 して適正なセンサ値を割り出す。



速度50の場合、 閾値750で正しく検知可能

戦略3)シングルスピン

回転を途中で止めて ライントレースに切り替えることで、 ラインを見失わないようにする。

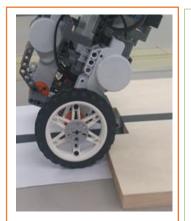


戦略2) 尻尾を使ってステージに上る

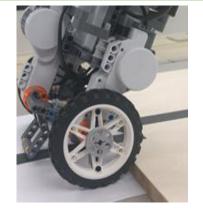
進入ラインの検知

ステージに上る

尻尾をひっかけて停止



ステージに衝突 した際のジャイ ロセンサ値を利 用して、進入ラ インを正確に検 知する。



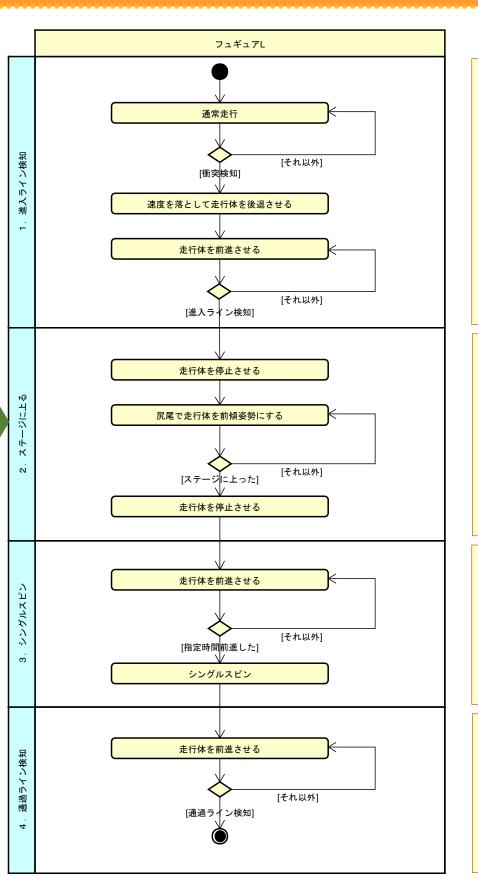
尻尾を下げることで走 行体を前傾姿勢にする。 走行体を前傾姿勢から 垂直に戻そうとする倒 立制御の特徴を利用し てステージに上る。





ステージに上った際、走行体を安定させるために一度**停止させる。 尻尾をステージのくぼみにひっかける**ことで走行体が垂直になり、安定した位置で停止する。

フュギュアL突破のシナリオ



解析で割り出したジャイロセンサ値を利用して進入ラインを正確に検知する。確実にステージに上るために一度後退して一定速度で前進する。

尻尾を使って走行体の バランスを変えてス テージに上り、尻尾を くぼみにひっかけて停 止する。 ここが一番の見どころ!!!

ステージの中央まで移動して、シングルスピン。ラインを見失わないように回転を途中で止めてライン検知する。

最後は慎重に。確実に ラインを検知する。通 過ラインから降りて、 通常走行に移行する。 2.戦略

3.構造

4.振る舞い



ソフトの静的な構造を記載。緩和ユースケース実現のための適正なソフト構造を検討。

目標達成に必要な要素をクラス図で構築

フィギュアLで使用するクラス

- ・走行(走行全般機能)
- ・ 尻尾(尻尾の角度制御)
- ・倒立制御(倒立制御算出)
- ・HW(デバイス制御)

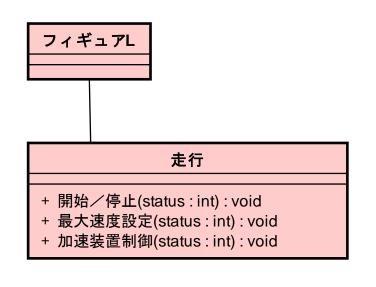
難所攻略の為、走行をカスタマイズ

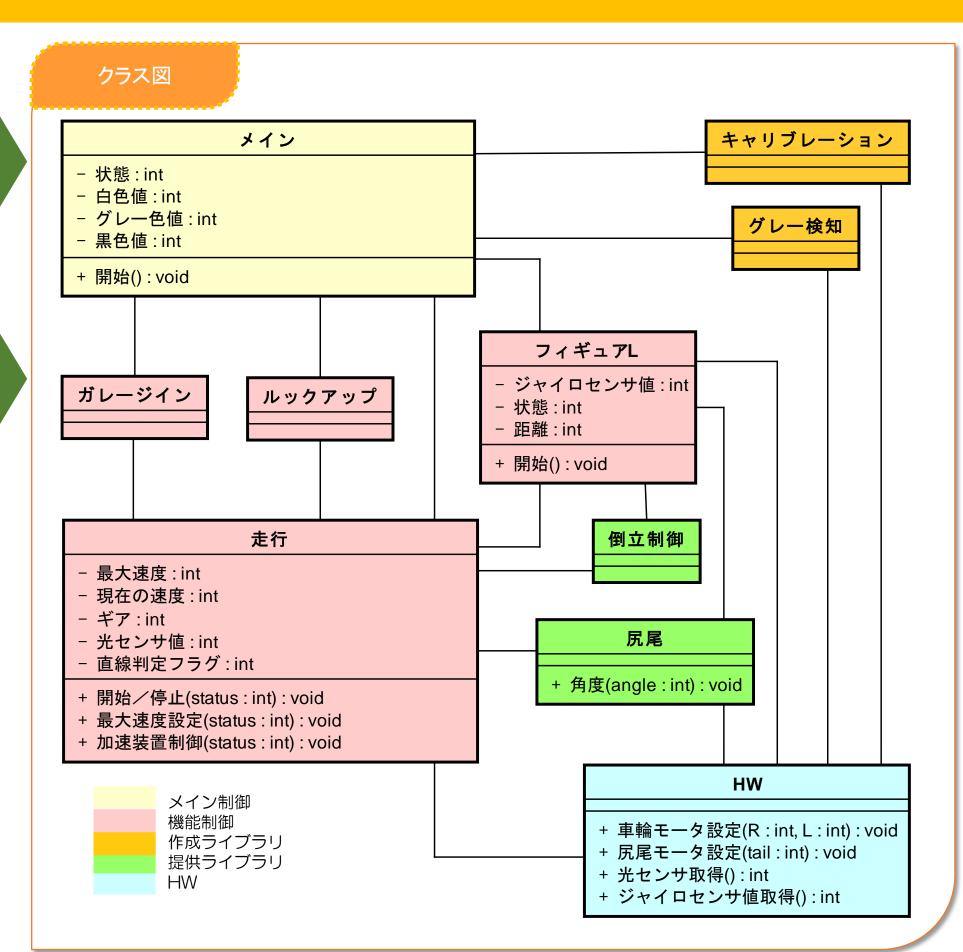
緩和ユースケース実現の為に、

「走行」をカスタマイズ!

以下のmethodを作成

- ・進入ライン検知をトリガに走行体の速度を補正
- =>最大速度設定、加速装置制御
- ・通常走行を利用する
 - / スピン完了手前からライン検出動作を行う
- =>開始/停止





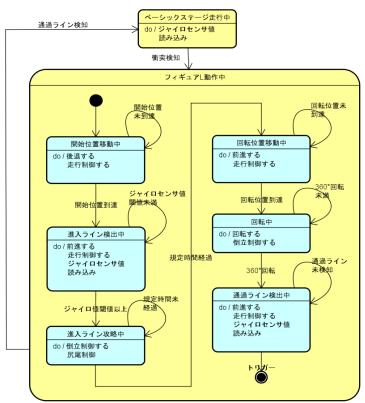
4.振る舞い

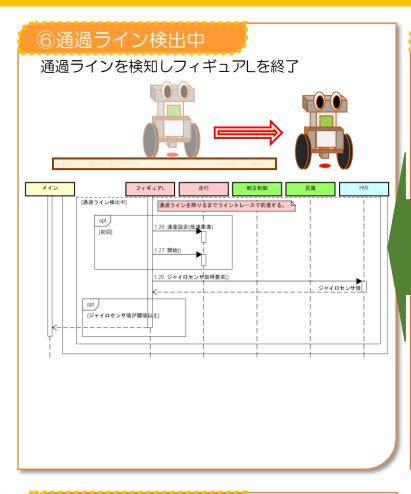


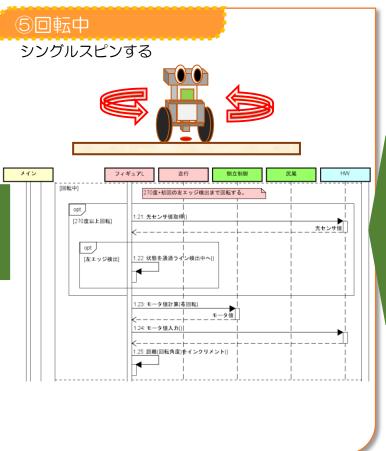
フィギュアL突破のためのソフトウェアの振る舞いを記載。

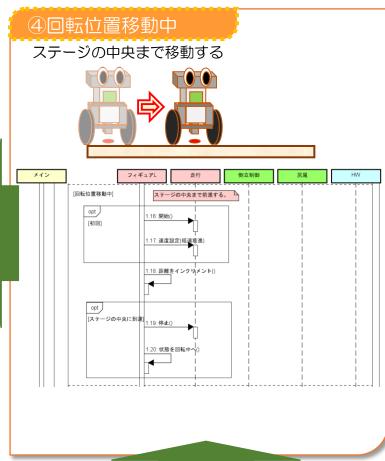
戦略に基づき、

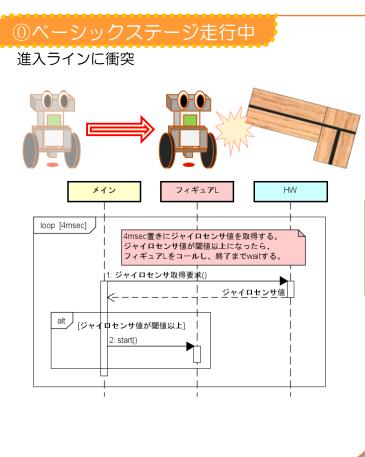
フィギュアL攻略時の状態を6段階に分けて検討。 それぞれの状態の動作を示す。

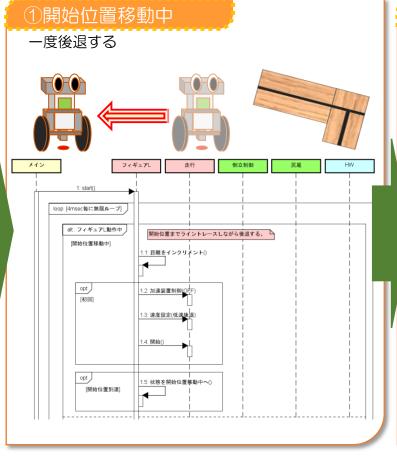


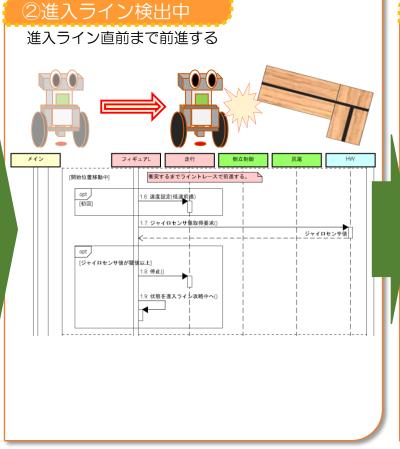


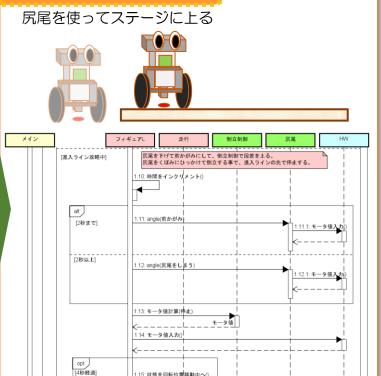












1.15: 状態を回転位置移動中へ(

③進入ライン攻略中